

令和4年度 第1回 大府市生涯学習審議会議事概要

日 時 令和4年5月18日(水) 午後2時40分から午後3時30分まで

場 所 大府市役所 2階201・202会議室

出席委員 会長 池田逸夫、

山内とよ子、滝川初成、今井修、犬塚芳克、神田由美、館内三郎、
大橋房代、松下裕子、山本友和、石黒公子

欠席委員 井上啓子

事務局 副市長 山内健次、教育長 宮島年夫、

市民協働部長 信田光隆、

協働推進課長 大塚康雄、協働推進課担当課長 竹田守孝、

協働推進生涯学習係長 平松雅也、協働推進生涯学習係主事 佐々木宏孝、

共長公民館長 古田功治、北山公民館長 安森昌子

傍聴人 なし

1 副市長あいさつ

大府市の新型コロナウイルスの新規感染者は、一週間150人～200人位で推移しており、なかなか落ち着かない。ワクチンの3回目接種が有効だか、若い世代の接種率は約40%、全体で約60%である。市では4回目接種の準備を進めている。4月につつじまつりを3年ぶりに開催し、多くの来場者があった。今年度は、コロナ禍において、社会活動と両立し、感染予防対策を行ったうえで、できる限り行事を実施する方向でいる。

2 会長あいさつ

地域で夏まつりが中止となったが、子どもたちは太鼓の練習をしている。秋まつりは実施予定である。暮らしにくい社会は早く無くなってほしい。

3 副会長の選出

副会長に山内とよ子委員が選出された。

4 大府市生涯学習審議会について(資料No.1)

事務局：資料No.1に基づいて説明

(質問、意見等なし)

5 議題

(1) 令和3年度生涯学習事業実績について(資料No.2)

事務局：資料No.2に基づいて説明

(委員) 大人の学び舎の地域デビューの実績は、どのくらいか。

(事務局) 地域デビューした数は数えていませんが、昨年度の修了式後に情報交換会を実施した際に、各コミュニティの代表の方が参加して受講者を地域デビューへと繋げました。

(委員) 良い方向に繋がるとよい。

(委員) 学習相談事業の 65 件は、どういう方の相談か。また、子ども会の加入率が 49%で衰退の状況で公民館の利用も少ない。生涯学習活動と子ども会をどう結び付けるか。子ども会の衰退で運動会ができない地域があり、子どもが運動会に参加できないことや、子ども会に入っていない子が多い。子ども会と公民館が一緒にやることを考えてほしい。

(事務局) 1 点目については、高齢者や女性の相談が多い。2 点目については、子ども会の担当課としっかりと情報共有をして、協働と連携しながら、考えていく。

(委員) 世話人が 1 年毎変わるので、指導や相談できる機関になってほしい。

(委員) 公民館とコラビアの活動状況を比較したものがほしい。また、ボランティアグループが、どう違うか教えて欲しい。

(事務局) 公民館とコラビアは使用形態が異なり、公民館は社会教育施設で、コラビアは市民活動団体やNPOのための施設です。

(委員) 公民館の開館時間の見直しでどのように運営改善できたか、また混乱はあったか。

(事務局) 施設の管理指導員からも現場の混乱はないと聞いている。改善では、管理指導員の人件費の節約もできており、効果は出ている。

(2) 永田雅宜氏関連事業（ながラボ）について（資料No.3）

事務局：資料No.3に基づいて説明

(委員) この事業で共長公民館と横根公民館を選んだ理由は何か。

(事務局) 公民館全体の事業であるが、共長公民館は駐車場スペースが無いので十分確保するため、横根公民館が入っている。

(委員) この事業はとても素晴らしい内容です。愛知県は数学の偏差値が、あまり高くない。算数、数学は子ども達に達成感で、自信を持ってもらうことは良いことです。

(3) 北山公民館での全世帯型サロン実施について（資料No.4）

事務局：資料No.4に基づいて説明

なお、本日は欠席ですが、いただきまんぷく食堂の部長であり、本審議会の委員の井上先生から、本議題に関して事前にご意見を頂いているので代読します。

・井上委員の事前の意見

「いただきまんぷく食堂」が今後「全世代型サロン」として事業展開していくためには、保健所からの営業許可取得、実際の運営方法の検討、担い手となる学生の継続的な参加など多くの課題が残っています。

その中で何より大事なことは、将来に渡って持続可能な運営となるような事業設計であると考えています。そのためには担い手となる学生、市役所関係課や保健所と十分な協議を図りながら進めていく必要があります。

本学の学生が地域住民同士の繋がりを作る場を作るため、大きな挑戦を行っておりますので、何卒温かい目で見守り下さいますようお願いいたします。

(委員) いただきまんぷく食堂は協働企画提案事業で実施と対応が早いですが、全世帯型サロンですと、北山公民館で活動するふれあい子ども食堂もありますが、声をかけていますか。どのようなすみわけがありますか。

(事務局) 現在はいただきまんぷく食堂と話を進めている。どのように全世帯型サロンを実施するのか、コラビアのワンデーシェフみたいに実施していくのか検討していく。

(委員) 議題にはないが、社会教育認定の減免団体は 10 名で、コロナや高齢化で定員が割れている。団体の活動ができないので 10 名を切っても減免団体になれるように検討してほしい。

(事務局) 減免団体は 10 名未満になっても現状は次年度までに 10 名になれば継続して認定するので、1 年の猶予がある。

(委員) 会員を増やすため、苦労している団体は多い。

6 報告事項

(1) 大府市生涯学習プラン 2030 について

事務局：冊子「大府市生涯学習プラン 2030」に基づいて説明

(2) 第 53 回東海北陸社会教育研究大会愛知大会の開催について（資料No.5）

事務局：資料No.5 に基づいて説明

7 教育長あいさつ

公民館の利用が若干増えている。実りのある事業を考えている。ながラボは小学 5 年生以上中学 3 年生までが対象だが、まだまだ知られていない。算数・数学検定の 3 級以上を受検される方には、教育委員会から補助を行う。また、今後永田雅宜氏の書籍発行を考えているが、山本委員には原稿等でお世話になるのでよろしくお願い致します。

【次回予定】

第 2 回生涯学習審議会 令和 4 年 8 月 26 日（金）午後 2 時から

大府市役所 2 階 203・204 会議室にて